

アスカビーエフの事業承継

イステムジャパン 同業種 商圏拡大

イステムジャパン（東京都墨田区、石川幸篤社長）は東京都事業引継ぎセンターの支援を得て、アスカビーエフ（東京都台東区）の事業を承継した。後継者不在に悩むアスカビーエフから商圏拡大のためM&A（合併・買収）したもの。「公的機関のあっせんを費

用も安く、しかもよく当社の事業を理解いただいたことで成立した」（石川社長）と話している。

イステムジャパンは1918年創業、現在は医療機関向けを中心に印刷物の製造販売を行っている。従業員は30人を有し、2016年度3月末で年商は7億円。経常利益はこのところ4000万円から5000万円の水準。利益は横ばいなし上昇傾向にあるが、売り上げが横ばいなし下降気味であるのが悩み。そこで民間の機関に依頼するのでは規模から見ても費用が高く付いたことから、東

京都事業引継ぎセンタ

ーに相談。後継者不在に悩むアスカビーエフの紹介を得た。同社も医療機関向け印刷物の製造販売を手がけ、「クロスセル展開による協業効果を発揮し売り上げ拡大が図れる」（石川社長）と判断。M&Aし従業員をそのまま雇用、事業継続させることにした。

「売り上げも、利益も20%アップさせられる。創業100年の来期はグループで売上高が10億円にはなる。110年目には15億円まで拡大したい」と抱負を語っている。